

令和5年度 職員自己評価記述と返答

職員の自己評価については集計を取りグラフ化しています。また、職員の記述については、園長の返答のみ記載し、反省点、改善点を踏まえて今後の取り組むべき課題について報告します。

『保育・仕事内容』

仕事内容については、今年度より乳幼児部は記録の日を出勤簿内に1日組み込む、幼児部は15時以降をフリーの時間とする、という形で進めてきましたが、その中で見えてきたことも多々ありました。

まず、幼児部については、年度始めはやはり正職も一日クラスに入り、保護者・園児とのコミュニケーションを取った方が良く、との意見があったように、現場を見てもそれは感じたことでもありましたので、G.W.に入るまでは正職も学年に一人交代ずつでもいいのでクラスに入る体制にしていきたいと思います。年少に関しては、G.W.明けの様子を見ながら対応していきたいと思います。

また、乳幼児部・幼児部共に記録等の時間を平等に…という平等性、という意見も数件ありました。しかし、乳幼児部・幼児部の職員配置や保育の内容が違うことは皆さんもご承知だと思います。その中で記録時間の平等性を保つことはとても難しいことです。ですから、園側で与えられた時間は、きちんと確保できるようにしていきますが、それ以外の時間は職員同士で譲り合って作っていただきたいと思います。そのため、これからは目に見える形で、与えられた時間以外の記録時間を職員間で作っていけるよう時間表を作成し、毎月の会議の中で皆さんと確認できるようにします。しかし、そこは時間による平等性、ということですので、そこでも時間が足りない方は時間が余っている方に相談してください。来年度は記録等の書き方についても、園内研修として設ける予定です。

この働き方は、今年度から取り組み始めたことなので、慣れないこともあったと思いますが、時間の使い方については工夫も大切です。保護者アンケートでは、全職員さん（担任以外の職員）にも話しやすい、また、話してくださり有難い、というお言葉も沢山ありました。その点においては、全職員で全ての子どもたちを見ていこうという姿勢が表れており、報告や連絡の連携もできていると実感しています。ありがとうございます。

職員間のことについて。まずは、「挨拶」は基本です。特に朝の挨拶は一日のスタートです。会釈だけでなく、言葉に出しての挨拶を心がけてください。一日のスタートは気持ちよいものであってほしいです。また、会議や話し合いの場では、まず相手の話を「聞く」ことを大切にしてください。言いっぱなしだと、相手も受け入れがたい状況になります。良いところは褒める、アドバイスは素直に聞く。そして、自分の思いを伝える。簡単そうで難しいことです。時代に応じて新しいものを取り入れていくのは良い事だと思いますので、失敗を恐れず、やってみたいこと、挑戦したいことをどんどんしていってほしいです。

今年度、行事に関しては乳・幼の行き来ができ、園児・保育者共に良い刺激になったので、今後は日常の遊びの中でも交流していけるよう、先生方も積極的に取り組んでいって下さい。

勤務中の態度について。まず、勤務中のスマホ使用は論外です（散歩や園外保育時は可）。特に保育室で勤務中にスマホを使用することは絶対にやめて下さい。特別な事情がある方は主幹まで伝えて下さい。子どもたちへの言動に関しては、まず本人の自覚が一番大切ですが、周りの保育者も「この対応は良くない」「私が代わります」等、気がけて本人に自覚を促すこともしてほしいと思います。いつもこうだから…で終わらせてしまうことは不適切保育につながります。言いづらい場合は、主幹に伝えて下さい。

『保護者対応』

保護者対応については、日頃の信頼関係や受け止め、即座の対応が必要になるため、とても難しいと思います。まず、思いを受け止めることを大切にして、保護者の方と話す機会を自ら作っていく、ということをしていって下さい。

職員同士の伝え方、対応の仕方に関しては、やはり、伝え方によって受け取り方も違ってきますので、お互いの理解の確認は必要になります。プライバシーに関しては守らなければならない義務（守秘義務にもあたります）ですので、どう対応したらよいかわからない時は、必ず主幹や副園長に伝えて下さい。

『環境・給食』

給食に関しては、給食室職員との交流、反省会、食育の在り方の見直しや検討が必要であると感じました。アレルギー児への対応や栄養バランス等、給食室も毎日本当に大変だと思います。保護者アンケートでは、給食の有り難さを伝えてくださる言葉も沢山ありましたので、より一層の改善へつながるよう、連携を図っていきましょう。食品慣らしや誤食に対する危機感は、0歳児だけでなく（特に0歳児ではありませんが）、アレルギー児も含め、全職員が危機感を持って対応してください。

玩具の提供に関しては購入が言いづらいこともあるということで、意見でもありますように、会議の際に声をかけていきたいと思います。価格が大きいものや数によっては難しい場合もありますので、その時は、代替えできる物の提供、保護者への呼びかけも含めて検討したいと思います。

『自由記述』

面談は全員は難しいですので、今後、以前のように全職員に対してアンケートに面談希望の欄を加えて、時間制限を設けて面談を行いたいと思います。

常勤職員、非常勤職員のそれぞれ立場の話聞くことは大切であると思いますので、そのような場を月1回できるか…、職員が揃うか（特に非常勤職員）は難しいので、改めて検討したいと思います。また、会議への参加は、去年の常勤・非常勤の会議参加の際、負担、という声が上がったことから、今年度は設けませんでした。もう一度皆さんにも尋ねてみたいと思います。

今回の保護者アンケート記述で突出していたことは、保護者対応についての厳しい意見はあまりなく、よく話をきいてくれる、良く対応してくださる、という言葉が多かったことです。これは、全職員が心がけていることが、目に見える形（言葉）で現れたということです。とても嬉しいことと受け止めています。しかし、対応に関しては苦情という形でいくつか皆さんにもお知らせしたこともありました。そのことは、しっかりと皆さんも受け止めて下さっていると思います。